

## “安保法制で壊されるもの” — 政治・経済・平和

3月29日、安全保障関連諸法が施行されました。多くの国民が説明不足と感じ、大半の憲法学者が憲法違反だと指摘しているにもかかわらず、いまだに政府は国民の不安や疑問にこたえる丁寧な説明をしていません。それどころか、野党5党が共同提案している廃止法案に対する審議に応ずる姿勢を全く示していない不誠実な態度に終始しています。

実際、この法体制が私たちのこれからの暮らしにどのような影響をもたらしていくのか、各界のパネリストから問題提起をいただき、この法体制と私たちはどう向き合っていくべきか、考えたいと思います。

と き 5月29日(日)

14時～16時30分

どなたでも  
参加できます

ところ 国際交流センター大会議室

(甲府市飯田 パスポートセンター)

パネリスト 進藤 兵 氏 (都留文科大学)

<政治、自治論>

藤田 実 氏 (桜美林大学)

<経済、労働>

宮本 和子氏 (山梨大学)

<国際平和、NGO活動>

コーディネーター 藤谷 秀 氏 (山梨県立大学)

主催 安全保障関連法に反対する山梨学者・大学人の会



※当日資料代として受付で500円いただきます。

※同種の企画を5月14日(土)午後2時から都留市の「ぴゅあ富士」  
においても行います。

◎ この会への賛同者を募っています。

PC、ネットから「山梨学者・大学人の会」で検索いただくか、山梨大学教職員組合のホームページから入り、登録フォームにてサイン下さい。

<http://www.nashidai-union.org/gakusyanokai2.php>